

# Daily Macro Economic Insights

貿易収支(通関統計)(2023年11月)

—輸出は3か月ぶり減少:半導体市場回復でも弱い外需—



PwC Intelligence シニアエコノミスト 伊藤 篤  
チーフエコノミスト、執行役員 片岡 剛士

## 輸出は3か月ぶり減少:自動車、半導体等電子部品以外の多くの財で減少

財務省から、2023年11月の貿易統計が公表された(図表1)。輸出金額(名目、原数値)は8兆8,196億円、前年比-0.2%となった。3か月ぶりに減少した。財別では、輸送用機器が前年比+11.3%と増加傾向を維持し、輸出を寄与度+2.6%ポイント(以下、ppt)押し上げた。しかし、輸送用機器以外の主要項目は軒並み減少している。一般機械は前年比-10.2%と8か月連続の減少、電気機器が同-0.3%と3か月連続の減少となった。輸出への寄与度は一般機械-1.9ppt(うち半導体等製造装置-0.4ppt)、電気機器-0.1ppt(うち半導体等電子部品+0.4ppt)となった。自動車関連、半導体等電子部品が増加、それ以外の多くの財で減少した。

輸入金額(同)は9兆5,965億円となり、前年比-11.9%と8か月連続で減少した。エネルギー関連の原油及び粗油、液化天然ガス等の鉱物性燃料が同-25.5%と大幅に減少した。8か月連続のマイナスとなり、輸入への寄与度は-7.3pptとなった。電気機器は同+4.5%となり、2か月連続で増加した。携帯電話などの通信機器の増加が寄与した。化学製品は同-19.6%と10か月連続で減少した。医薬品が含まれており、ワクチン関連の輸入減少の影響とみられる。貿易収支は、-7,769億円となり2か月連続のマイナスとなった。

## 欧米向け輸出の勢いが鈍化/中国を含むアジア向けが若干の改善

次に地域別の名目輸出動向を確認しておこう。11月の米国向けは前年比+5.3%となった。商品別には、自動車を含む輸送用機器が寄与度+7.1pptと押し上げた。それ以外の項目では減少した項目が多く、一般機械、化学製品、電気機器で減少した。11月のEU向けは、前年比-0.0%と横ばいとなった。商品別には輸送用機器の寄与度が+7.1pptと押し上げたものの、加熱用・冷却用機器などで減少した一般機械が-4.2pptとなったほか、鉄鉱などの原料別製品で減少した。中国向けは、前年比-2.2%と減少した。昨年12月から12か月連続でマイナスとなったが、ここ4か月は減少幅が縮小している。商品別では、半導体電子部品を含む電気機器、加熱用・冷却用機器などで減少した。後述する半導体等製造装置を含む一般機械(寄与度+1.3ppt)、輸送用機器(同+1.2ppt)が増加した。8月下旬に中国が輸入規制を課した水産物を含む食料品は前年比-60.3%と大幅な減少が継続しており、-0.8pptの寄与となっている。また、中国以外のアジア向けは、前年比-5.0%となり、8か月連続の減少となった。欧米向け輸出の勢いが鈍化し、中国を含むアジア向けが若干の改善を遂げた。

図表1:貿易収支の推移

	名目(兆円)			名目・前年比(%)												
	輸出	輸入	収支	輸出総額				商品別			輸入総額					
				地域別	米国	EU	中国	中国以外のアジア	輸送用機器	一般機械	電気機器	商品別	鉱物性燃料	電気機器	化学製品	
2021年	10月	7.2	7.3	▲0.1	9.4	0.3	12.1	9.6	18.5	▲28.7	22.9	10.5	27.1	91.2	11.2	26.7
	11月	7.4	8.3	▲1.0	20.5	10.0	16.4	16.0	30.4	4.3	22.6	14.3	44.1	144.7	9.9	48.8
	12月	7.9	8.5	▲0.6	17.5	22.1	9.7	10.8	20.5	10.2	17.6	15.0	41.4	122.8	26.7	44.8
2022年	1月	6.3	8.6	▲2.2	9.5	11.4	16.1	▲5.4	13.0	▲0.5	6.9	8.4	39.5	85.7	27.5	50.1
	2月	7.2	7.9	▲0.7	19.1	16.0	8.8	25.8	24.9	4.3	19.7	15.9	35.0	81.6	15.6	60.8
	3月	8.5	9.0	▲0.5	14.7	23.8	16.7	2.9	18.5	▲1.2	15.8	15.6	32.3	84.4	15.7	43.2
	4月	8.1	9.0	▲0.9	12.5	17.5	19.2	▲5.9	20.3	4.8	6.6	8.7	28.7	111.2	7.4	27.5
	5月	7.3	9.7	▲2.4	15.8	13.7	10.5	▲0.3	28.5	▲5.4	13.2	11.1	49.0	151.7	36.4	25.9
	6月	8.6	10.0	▲1.4	19.2	15.7	22.2	7.4	25.8	3.4	14.3	17.1	45.9	139.4	32.7	34.1
	7月	8.8	10.2	▲1.5	19.0	14.0	31.7	12.8	26.1	14.5	17.3	13.8	47.7	129.6	31.3	28.9
	8月	8.1	10.9	▲2.8	22.0	33.8	16.7	13.4	20.9	30.8	17.0	13.0	49.3	119.3	38.4	27.0
	9月	8.8	10.9	▲2.1	28.9	45.2	33.2	17.0	22.6	75.0	23.8	19.5	46.1	118.1	38.5	34.6
	10月	9.0	11.2	▲2.2	25.3	36.5	28.1	7.7	21.9	61.4	17.6	17.9	54.1	107.9	45.7	53.1
	11月	8.8	10.9	▲2.1	20.0	32.6	32.0	3.5	16.4	33.8	18.9	11.4	30.6	60.8	24.2	32.7
	12月	8.8	10.3	▲1.5	11.5	16.9	27.0	▲6.2	10.4	14.4	13.2	6.2	21.2	44.5	9.1	30.5
2023年	1月	6.6	10.1	▲3.5	3.5	10.4	9.5	▲17.1	2.3	9.2	4.5	▲1.5	17.2	46.3	11.3	1.8
	2月	7.7	8.6	▲0.9	6.5	14.9	18.6	▲10.9	4.0	16.1	1.4	▲1.7	8.2	18.5	15.6	▲2.6
	3月	8.8	9.6	▲0.8	4.3	9.4	5.1	▲7.7	2.5	23.0	1.7	▲4.5	7.1	12.1	8.7	▲15.1
	4月	8.3	8.7	▲0.4	2.6	10.5	11.8	▲2.9	▲8.0	19.8	▲0.1	▲4.3	▲2.7	▲18.0	12.8	▲4.1
	5月	7.3	8.7	▲1.4	0.6	9.4	16.6	▲3.4	▲10.4	38.9	▲3.6	▲8.0	▲10.2	▲28.1	▲2.2	▲13.5
	6月	8.7	8.7	0.0	1.5	11.7	15.0	▲10.9	▲7.0	38.1	▲1.5	▲6.3	▲13.1	▲33.6	▲7.8	▲13.7
	7月	8.7	8.8	▲0.1	▲0.3	13.5	12.4	▲13.4	▲13.2	22.7	▲4.5	▲7.3	▲14.1	▲36.8	▲1.9	▲12.8
	8月	8.0	8.9	▲0.9	▲0.8	5.1	12.7	▲11.0	▲7.6	25.6	▲9.6	0.2	▲17.6	▲36.0	▲6.2	▲15.5
	9月	9.2	9.1	0.1	4.3	13.0	12.9	▲6.2	▲3.3	21.2	▲1.4	▲4.0	▲16.5	▲38.1	▲7.9	▲23.5
	10月	9.1	9.8	▲0.7	1.6	8.5	8.9	▲4.0	▲6.1	27.5	▲6.4	▲3.8	▲12.5	▲27.9	5.5	▲17.6
	11月	8.8	9.6	▲0.8	▲0.2	5.3	▲0.0	▲2.2	▲5.0	11.3	▲10.2	▲0.3	▲11.9	▲25.5	4.5	▲19.6

(出所) 財務省より筆者作成。

## 半導体売上は回復だが、輸出は弱い／中国向け半導体製造装置輸出が大幅に増加

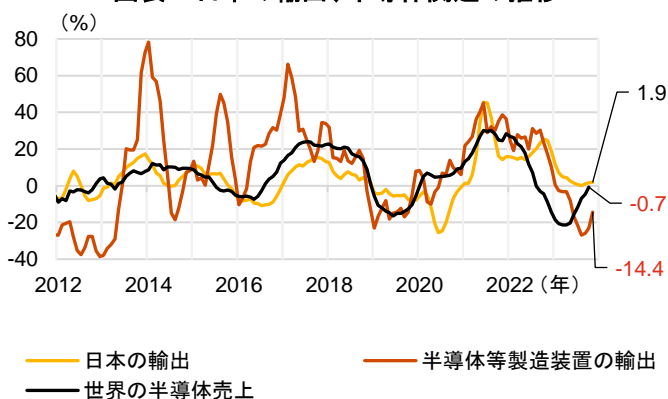
上記でみた通り、11月の輸出は自動車の増加が継続したものの、半導体関連を含むそれ以外の商品の押し下げが大きく、減少に転じた。そこで改めて日本の輸出総額、うち半導体等製造装置、世界の半導体売上をみたのが図表2である(前年比)。これを見ると、輸出と世界の半導体売上は連動した動きをしてきた。世界の半導体売上高(3か月移動平均)は、2022年8月より減少に転じ、2023年3月・4月の2割減でピークをつけ、10月には前年比-0.7%とほぼ横ばいとなるまで回復している。一方、日本の半導体等製造装置(3か月移動平均)は、2023年11月には前年比-14.4%となり、8月の-26.9%よりも減少幅が縮小している。また、11月単月の半導体等製造装置の輸出は前年比-10.6%となり、8月の-36.3%から持ち直しが続いている(図表3)。このように半導体サイクルが回復している割に、輸出全体が減少に転じている。半導体以外の項目での海外需要が減退している可能性がある。

また、半導体市場でも注意が必要な点がある。図表3で地域別にみると、11月は中国向けが引き続き増加している。10月の中国企業の製造するスマートフォンの機能向上を受けて、米国が追加の半導体規制の導入を発表し、中国が規制強化前の日本からの輸入を増やしている可能性がある。これは半導体市場の回復とは別個の特殊要因である。また、中国を除くアジア向けの減少幅が大きくなっており、今後の半導体需要が回復するかを慎重にみる必要がある。

## 輸出数量は2か月連続の減少: 欧米向け悪化／中国・アジア向け減少継続

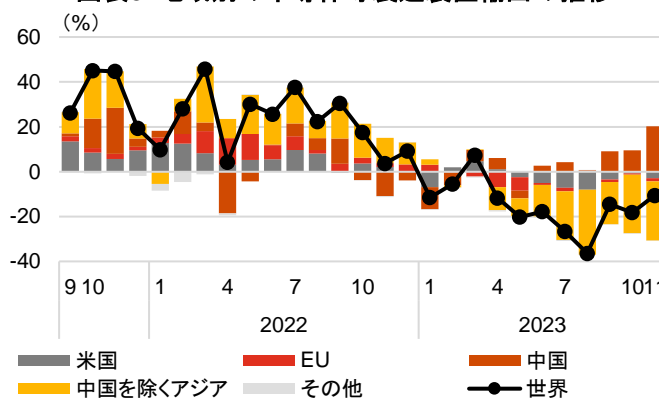
以上は名目値での議論であるが、足元の輸出入は価格変化の影響を大きく受けているため、その影響を除いた輸出数量指数(財務省公表値)を確認しておこう。11月の輸出数量(図表4)は、前年比-5.6%となり、2か月連続で減少した。図表5で地域別の動向をみると、11月は米国向けが同+3.4%まで鈍化した。EU向けは同-11.8%と大幅に落ち込んだ。2023年後半は横ばいで推移していたが、やや落ち込みが大きくなっている。中国向けは同-9.9%、中国を含むアジア向けは同-7.5%となり、減少が継続している。

図表2: 日本の輸出、半導体関連の推移



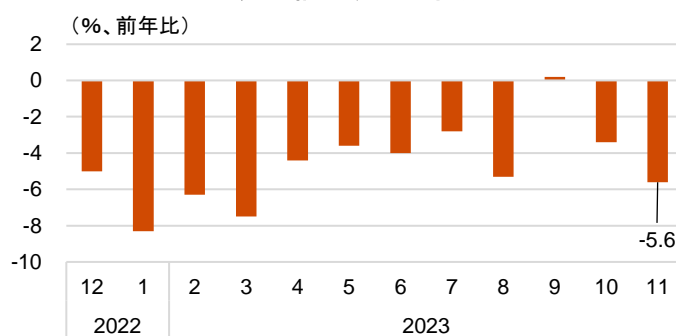
(注) 後方3か月移動平均。(出所) 財務省より筆者作成。

図表3: 地域別の半導体等製造装置輸出の推移



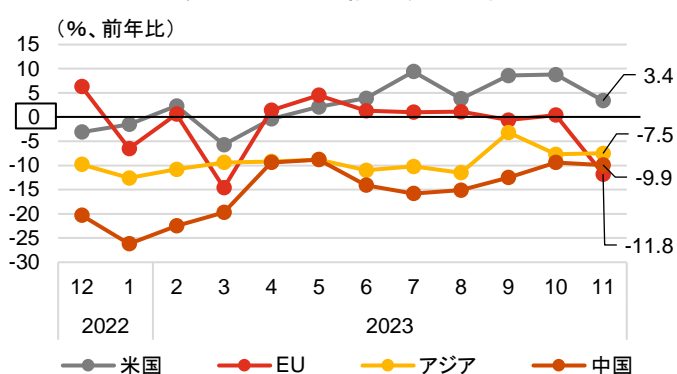
(出所) 財務省より筆者作成。

図表4: 輸出数量の推移



(出所) 財務省より筆者作成。

図表5: 地域別の輸出数量の推移



(出所) 財務省より筆者作成。

片岡 剛士

チーフエコノミスト、執行役員

PwC Intelligence

PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト

PwC Intelligence

PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel: 03-6257-0700

© 2023 PwC Consulting LLC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.